

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年7月18日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103318
法人名	医療法人 上原クリニック
事業所名	グループホーム あかね
所在地	鹿児島県鹿児島市山田町73番地1 (電話) 099-275-8008
自己評価作成日	平成24年5月19日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成24年7月10日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・毎月ご家族様へ入居者様の日々の様子等を伝える手紙を請求書と共に送っている
- ・地域の方々より季節の野菜や果物を頂き、食卓を豊かにしている。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・法人全体の夏祭りや餅つき大会に地域住民が集い、また、ホームで小学校や中学校との交流を実施したり、ボランティアや慰問も受け入れている。地域の花火大会や文化祭に参加したり、地域住民から野菜の差し入れがあるなど、地域との交流やつながりを大事にしている。
- ・家族会が毎年開催されており、家族等はホームの様々な行事への参加や運営推進会議へ出席し、行事や面会等を通じて話し合い、日頃から家族と協力して支援できるような関係づくりに努めている。
- ・利用者の食べ物嗜好調査を実施し、栄養士を中心に献立の栄養バランスや利用者にあった食べやすい調理にするなど、食事を楽しめるよう工夫している。
- ・協力医療機関が隣接し、医療連携体制ができており、緊急時の対応など利用者や家族にとって安心できる環境である。
- ・定期的な避難訓練以外に、隣接した医療機関や介護施設と合同での訓練に参加したり、救急救命講習やAED取り扱い研修の実施など、緊急時や災害に備えた取り組みをしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	目につくところに掲示しており職員全員が実践に取り組んでいる	理念は、玄関や事業所内に掲示している。重要事項説明書にも記載し利用者や家族にも説明している。所長や管理者が、職員会議等で理念を確認し共通理解のもと職員はよりよいサービスが提供できるように実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	母体であるクリニックを中心に、夏祭り、餅つき等を通して地域の方々との交流を行っている。校区の小学生との七夕祭り、体験学習も行っている。	町内会に加入しており、法人全体の夏祭りや餅つき大会に地域住民等が参加している。小学生との交流や中学生の福祉体験も受け入れている。また、ボランティアの訪問や太鼓やマジックショー等の慰問があり、近所からの野菜の提供もある。日常的に地域との交流やつながりを大事にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	研修生の受け入れ、ボランティア、小、中学生の学習交流、教員研修を通して認知症の理解や支援につなげている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進委員さんの行事への参加を通して職員や家族の意見を聴く機会を作っている。</p>	<p>会議は、家族や町内会役員・地域包括支援センター職員・地域住民等が参加し、会議と行事を同日に行うこともあり、地域交流の場としている。会議では、ホームの活動内容等や外部評価の結果について報告し、意見交換を行っている。会議内容を職員会で報告し、サービスの質向上に反映させている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の介護相談員の受け入れ</li> <li>・地域ケア会議での意見交換</li> </ul>	<p>運営推進会議出席のほか、介護相談員を受け入れ、利用者へのサービス向上につなげている。必要に応じて担当課への相談や情報交換をしている。地域ケア会議では、意見交換を積極的に行っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を定期的の実施し、意識向上とケアに取り組んでいる。拘束を必要とされるときは、一連の書類整備を行い常に廃止に向けたケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束をしないケアについて、入居時に本人や家族に事業所の基本方針を説明して、同意書を得ている。身体拘束廃止委員会を4ヶ月毎に開催している。日中は玄関の施錠をせず、見守りと職員の連携で自由な暮らしを支援し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	勉強会や研修の機会を持ち、防止に努めている。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	事例になる事柄がなく勉強会の参加と文献等で知識を深めている。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	入所時に契約書の読み合せを行い、家族の不安、疑問事項は十分に説明を行い理解と納得を図っている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	意見箱の設置、家族来訪時、家族会等機会を設けている。	利用者からは日頃の生活の中で意見や要望を聞いている。家族からは、運営推進会議や家族会・面会時を活用し、要望や意見を聴取している。意見箱も設置している。職員全体で話し合い、解決できるように努めており、必要に応じて運営推進会議にも報告し、運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>定期の職員会議、毎朝のミーティング時に意見、提案を聞く機会をもう受けている。</p>	<p>毎月の職員会議に所長や管理者が出席し、職員からの運営に関する要望等を聞いている。所長や管理者は、日常的に意見を聞き必要に応じて話し合う場を設け、勤務時間の希望についても配慮している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勤務年数、資格取得等で正規職員への道が確保されている</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内はもとより、公的研修は職員が普遍的に受講できるよう配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者会議での意見や情報交換をもとにサービス向上につなげている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前の状況確認や本人面接を行い、不安や要望を受け止め安心してサービスが受けられるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の状況把握を行い、不安、心配事、要望等を理解することで、より良い関係づくりにつなげている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要なサービスや適切な施設入所の提案等の対応に努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の思い、苦しみ、不安、喜びを知り、毎日の生活の中で共に分かち合い支え合う関係作りに留意している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の思いを理解し大切にしながら、共に本人を支えていける関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の行きたい場所や会いたい人への思いを大切に、家族の協力をもらいながら支援している。	知人や友人の訪問が多く、関係を継続できるように支援している。利用者の要望による美容院等への外出支援も家族の協力をもらいながら実施している。ドライブ時に自宅まで行ったり、本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所に出かけるなどして、関係を継続できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共同生活がより平穩に安心して行える様個々の気分、感情に配慮して支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	行事の案内や、来訪を心良く受け入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のかかわりの中で、本人の何げない言葉、行動、感情を読み取りながら個々の意向の把握に努めている。	利用者からは、日々のかかわりの中で思いや意向の把握に努めている。意思疎通が困難な利用者については、家族から入居時や面会時に情報を得ており、本人の思いを尊重した生活ができるように、職員間で情報を交換し、共有して支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族からの聞き取りを基にこれまでの経過の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の暮らしの中の小さな変化を見逃さないように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の思いを主に、家族の意見、要望を取り入れた、その人らしい生活ができる様、スタッフ全員で作成に当たっている。	介護計画は、利用者や家族の意見を聞き、毎日の暮らしぶりをもとにミーティング等で話し合い、現状に即したプランを作成している。モニタリングは3ヶ月毎に実施し、介護計画の見直しも6ヶ月毎に行い、状態が変化した場合に随時見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日の様子、変化等の情報を記録し、内容を把握、共有してサービス計画の評価見直しを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>母体医療機関との24時間、健康管理、医療活用等、連携体制の充実と、他病院受診への移送等は家族の状況に応じた柔軟な対応を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の婦人会、ボランティア老人会等情報交換、交流の機会を設けながら地域の中での暮らしを支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人、家族の希望を優先しながら、入居者は母体病院を主として、定期回診、緊急時の対応等安心した医療支援がなされている。</p>	<p>希望のかかりつけ医への受診を支援している。状況に応じて受診の支援を行い記録と共に家族にも報告している。協力医療機関の月1回の定期回診や歯科の往診もある。母体医療機関が隣接し、医療連携体制ができており、緊急時の対応等、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>会話、行動、入浴等にとらえたり、気づいたりした異常は母体病院へ報告連絡し、速やかに受診、看護ができるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中の情報交換、相談等、気軽に行え早期退院できるよう家族と共に働きかけている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人、家族の意向を確認し、事業所の方針を説明理解してもらっている。</p>	<p>事業所の方針として、入居時に重度化した場合における対応について指針を示し、看取りに関する考え方を明示している。重度化した場合の同意書も準備している。看取りについて希望される場合は、家族と話し合い、主治医と連携して可能な限り支援していけるように取り組んでいる。看取りの経験もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救急救命法、AEDの取り扱い訓練を定期的に行い実践力につなげている。</p>	/	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火際、災害時に対する避難訓練を定期的に行っている。台風等に対して、食料、水の備蓄を習慣としている。</p>	<p>避難訓練は年2回実施しており、隣接した医療機関や介護施設・地域住民と合同での訓練も行っている。避難訓練では、避難手順・体制・場所の確認や消火器訓練・消防設備の定期点検も実施している。非常用の食料・水も備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>その時々本人の気持ちを尊重し、個々に合った声掛けや対応を心がけている。</p>	<p>利用者の人格の尊重とプライバシーの確保については、入室時や入浴・更衣・トイレ誘導時の言葉使いに配慮し、さりげない声かけに心がけている。人格の尊重とプライバシーの確保についての研修や勉強会を行い、申し送り時にケアの振り返りをして、個人を尊重した支援を行っている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日頃の会話の中で、本人の気持ちや思いを酌み取って話すよう心がけている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>個々の性格、ペースを把握し、その日の体調、気分配慮しながら本人本位の暮らしを優先する生活を支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>訪問カットや外出時の化粧、メイクボランティアの訪問等でおしゃれの楽しみが持てるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々のできる範囲の中で、野菜の下ごしらえ等して頂いている。食前後のテーブルやお膳拭きを職員と一緒にしている。	嗜好調査で利用者の好みを聞き、家族や近所から提供された野菜等をみんなで話し合い調理している。野菜の下ごしらえや後かたづけなど、利用者もできる範囲で一緒に行っている。職員と利用者が同じテーブルを囲んで楽しく食事を行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の栄養摂取量、水分摂取量等を毎日の記録で管理チェックしている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声掛け誘導を行い全員が歯磨きを習慣とし口腔ケアの徹底を図っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し行動、サインを読み取りながら声掛け誘導している。	排泄チェック表を作成し、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握している。職員の連携により、適時にさりげなく声かけをしてトイレ誘導を行い、できるだけ、トイレでの排泄の自立に向けた支援を行っている。成功した事例もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維を多く含む材料を使ったメニュー作りと乳製品を積極的に取り入れている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	身体状況やその時々タイミングに合わせた入浴を行っている。入浴嫌いな方には、楽しみながら入ってもらうことの工夫もしている。	入浴は週に3回のペースであるが、利用者の希望する入浴となっている。入浴の順番や時間帯にも配慮している。入浴を拒否する利用者には、薔薇湯などの入浴剤を使用するなど入浴を楽しめるよう対応し、それぞれのペースで入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活歴を尊重し、個々の習慣に応じた日常生活を送れるよう支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬による身体状況、変化を観察、報告し適切な服薬支援がなされよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個々に合わせた、作業や楽しみ事の中で役割を持ち、張りのある生活ができるよう支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>タイミングに合わせた外出支援を心がけているが、なかなか思うようにいかないのが現状である。家族による定期的な外出はお願いしている（外食、買い物等）</p>	<p>日常的には、天気のよい日は散歩をしたり買い物に出かけている。ドライブの時には利用者の希望により、行き先も柔軟に対応している。季節行事の花見やそうめん流し・夏祭り等、計画的に行っている。家族の協力で外食や墓参りも頻繁に行い、外出が実施できるように支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>スーパー等へ買い物に行き好きな品物を買う機会を作っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望があれば、その都度電話の取り次ぎを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の場所に季節の花や緑を置き、窓を開け外気を感じてもらい常に心地よく過ごせるよう配慮している。	共用空間は、ゆったりとして広い窓から外の景色が眺められ、空気や光などの調節を細やかに行っている。利用者の作品や小学生と一緒に作った七夕飾りなどがあり、季節を感じさせる。和室のコーナーやソファでゆっくり過ごすことができ、居心地のよい環境になっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを配置し、入居者様同志の交流が楽しめる場になっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビ、座椅子、鏡台など愛用の物を持ちこみ、家族の写真や花、カードを自由に飾り心地良く過ごせる居室作りに努めている。	居室は洋室と和室があり、電動ベッドやチェストが設置されている。本人の使い慣れたタンスやテレビ・手作り作品・家族の写真等が飾ってあり、神棚などもある。利用者が安心して暮らせる配慮がなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、通路には手すりが取り付けられてあり安全に歩行できるよう、工夫してある。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない